

重度認知機能低下の大腿骨近位部骨折症例に関する実態調査 に関する研究について

医療法人社団我汝会えにわ病院では、運動器の病気で入院・通院されていた患者様の診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。また、患者様のプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

ご自身の試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究の目的及び意義

認知機能が低下している大腿骨近位部骨折術後の患者様は、自宅復帰率が低下するといわれています。しかし、認知機能の重症度別で自宅復帰率を検討した報告は少ないです。臨床では中等度以下で認知機能が低下している患者様よりも、重度で認知機能低下がみられる患者様は、介護量が増大することが考えられるため、自宅復帰率が低下する印象にあります。そのため、重症度別に認知機能が低下している患者様の特徴を把握する必要があると考えました。本研究の目的は、重度認知機能低下の有無による身体的・能力的特徴を調査することです。

2. 研究方法

1) 研究対象者

研究期間内に、本院において大腿骨近位部骨折により手術目的で入院した患者様とします

2) 研究実施期間

実施許可日～2025 年 11 月 30 日

3) 研究方法（使用する試料・情報を含む）

・観察及び調査項目とその実施方法

以下の項目について調査を行い、そのデータを本研究に利用します。これらは全て日常診療で実施される項目であり、その頻度も日常診療と同等のものです。

- i .研究対象者基本情報：年齢，性別，Body mass index，骨折型，術式，入院から手術までの日数，術後から退院までの日数，当院からの転帰先，同居者の人数，介護者の人数
- ii .精神機能評価：入院時の Abbreviated Mental Test Score (AMTS)
- iii .身体機能評価：入院時・退院時の歩行能力，術後翌日の介入進捗度
- iv .栄養評価：入院時・術後 1 日目・退院時の Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI)

4) 試料・情報の保存

本研究の試料・情報は当院の責任下にて保存されます。

5) 研究成果の取り扱い

ご参加頂いた患者様の個人情報が出ないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表いたします。

6) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、ご自身の試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記にお申し出ください。試料・情報の使用を断られても患者様に不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

医療法人社団我汝会えにわ病院

研究責任者：東 弘幸

連絡先（電話番号）：0123-33-2370（平日：9時～17時）

7) 研究組織

医療法人社団我汝会えにわ病院

〒061-1449

恵庭市黄金中央2丁目1番地1

Tel：0123-33-2333 リハビリ：0123-33-2370 FAX：0123-33-5108

研究責任者 東 弘幸

共同研究者 家入 章，大窪 悠真，石田 和宏，本家 秀文

医療法人社団我汝会えにわ病院

令和7年1月15日作成